



阿南市合併 20 周年記念事業

阿南市こども議会

合併 20 周年特別議会 会議録

阿南市こども議会合併 20 周年特別議会 会議録

索引

議事日程	1
本日の議会に付した案件	1
出席議員	2
説明のため出席した者の職氏名	2
日程第1 市長あいさつ	4
日程第2 会議録署名議員の指名	5
日程第3 会期の決定	5
日程第4 市政に対する一般質問 1班 阿南中学校	6
市政に対する一般質問 2班 阿南第一中学校	10
市政に対する一般質問 3班 加茂谷中学校	14
市政に対する一般質問 4班 阿南第二中学校	19
市政に対する一般質問 5班 福井中学校	23
市政に対する一般質問 6班 新野中学校	26
市政に対する一般質問 7班 那賀川中学校	31
市政に対する一般質問 8班 羽ノ浦中学校	36
市政に対する一般質問 9班 富岡東中学校	40
日程第5 教育長講評	47

付録

スナップアルバム	49
----------	----

令和7年8月20日（水曜日） 午後1時開会

議 事 日 程

- 日程第1 市長あいさつ
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 市政に対する一般質問
- 日程第5 教育長講評

本日の議会に付した案件

- 日程第1 市長あいさつ
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 市政に対する一般質問
- 日程第5 教育長講評

出席議員

阿南中学校	岡澤花琉	議員
	二階優花	議員
阿南第一中学校	入口颯太	議員
	金谷太雅	議員
加茂谷中学校	町田晋太郎	議員
	澤田彩音	議員
阿南第二中学校	吉原莉乃	議員
	芳川心春	議員
福井中学校	中川陽葵	議員
	宮崎媛歌	議員
新野中学校	岩崎美羽	議員
	尺長紗和子	議員
那賀川中学校	斎藤つづり	議員
	吉岡陽菜乃	議員
羽ノ浦中学校	遠藤優斗	議員
	野村旺志郎	議員
富岡東中学校	西谷咲良	議員
	西 栞那	議員

阿南市議会

議長 湯浅隆浩

説明のため出席した者の職氏名

市長	岩佐義弘
副市長	西田修
副市長	平井琢二
教育長	坂本和裕
監査委員	幸坂孝則
政策監	東條盛彦
政策監	篠原明広
企画部長	幸泉賢一郎
総務部長	荒井啓之
危機管理部長	川端浩二
市民部長	山下公
環境管理部長	湯浅基和
保健福祉部長	高山秀樹
産業部長	中橋俊樹
建設部長	藤本和巳
都市整備部長	吉岡次男
会計管理者	東 千代美
水道部長	松原一夫
教育部長	安富裕子
消防長	小西誠一郎
保健福祉部理事	清水幸夫
産業部理事	数藤正規
秘書広報課長	横手慎也
財政課長	石山博章

議会事務局

事務局長	佐坂泰資
議事課長	田上浩通
議事課長補佐	平瀬恭文
議事課係長	福岡千尋



議長（湯浅隆浩 議長）

皆さん、こんにちは。

私は、本日のこども議会の議長を務めさせていただきます、阿南市議会 議長 湯浅隆浩です。

どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、阿南市こども議会「合併20周年特別議会」にご参加いただき、ありがとうございます。皆さんをこの議場にお迎えできることを、とても嬉しく思います。

ここ市議会の議場は、普段、市議会議員が阿南市の未来やまちづくりについて真剣に話し合い、さまざまな意見を交わしている場所です。市民の皆さんの声を受け止め、より良いまちにするために大切な決定をしている、まさに阿南市の心臓部とも言える場所でございます。

今日は、皆さんが「こども議会議員」として、この大切な議場で、自分たちのまちについて意見を出し合い、考えを深めていく日です。学校とは違う雰囲気、少し緊張している人もいるかもしれませんが、皆さん一人一人の意見やアイデアが、きっと阿南市をより良くする大きな力となります。

私たち大人も、皆さんの新しい視点や素直な意見から学ぶことがたくさんあります。どうか自信を持って、自分の考えをしっかりと伝えてください。今日の経験が、皆さんの将来にとって大きな学びとなることを願っております。

また、本日は多くの保護者や先生方にも傍聴いただいております。こうした取組は、皆様のご理解とご協力があってこそ実現できるものでございます。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

それでは、ただいまから、阿南市こども議会「合併20周年特別議会」を開会いたします。これより本日の会議を開きます。

まず、本日の議事日程をご報告いたします。

- 日程第1 市長あいさつ
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 市政に対する一般質問
- 日程第5 教育長講評

以上であります。

これより本日の日程に入ります。

日程第1 市長のあいさつをお願いいたします。岩佐市長。

日程第1 市長あいさつ

岩佐義弘 市長



阿南市こども議会議員の皆さん、あらためまして、こんにちは。
市長の岩佐義弘でございます。

湯浅議長のお許しを得ましたので、ご挨拶をさせていただきます。

本日は、「こども議会」にご出席をいただき、本当にありがとうございます。
また、この日のために、阿南市のことについて、一生懸命
勉強され、今議会に備えていただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

皆さんが生まれる前、平成18年の3月20日、旧阿南市と那賀川町及び羽ノ浦町が合併し、
今の阿南市になりました。この合併により、阿南市は、人口7万8,000人となり、産業力、地
域経済力と相まって、名実ともに徳島県第2位の都市となり、そして県南地域の中核都市とし
ての存在感を増す要因にもなったと考えております。

本日のこども議会は、合併からこれまで、20年の歩みが確かなものであったことを再確認
するとともに、今まで以上に市民の皆さんと手を携えて、夢と希望に満ちたまちづくりが進め
られるよう、合併20周年記念事業として開催するものでございます。

本市におけるこども議会は、過去5回開催されておりますが、中学生を対象として開催する
のは、平成5年に行われた「第1回」以来となります。そのときの参加者には、現在、阿南市
の職員として働いている方もいらっしゃいます。どうか、皆さんも、本日の議会を通じて、市
政や議会に関心をもっていただき、阿南市民の幸せのために、活躍してくださることを心から
願っております。

さて、皆さんの学校にも生徒会という組織があり、校則や、学校行事のことについて話し合
い、学校をより良くするために活動されていると思います。市役所も同じで、湯浅議長さん
をはじめとする市議会議員の皆さん、そして、多くの職員が意見を出し合い、阿南市をより良
くするために取り組んでおります。

皆さんにとっては、初めてのこども議会で、初対面のたくさんの大人たちの前で意見を言う
のは緊張していると思いますが、優しい人ばかりなので安心してください。今日は、皆さんが
阿南市のまちづくりの主役です。各中学校の代表として、自信を持って、発言していただけた
らと思います。

皆さんのご意見は、私たち大人では思いつかないような、斬新なアイデアや貴重な提言ば
かりです。いただいたご意見は真摯に受け止め、阿南市の将来のために、大いに参考にさせてい
ただきます。

阿南市の明るい未来のために、そして、阿南市民みんなの幸せのために、年齢や立場に関わ
らず、ともに意見を出し合い、一緒に考え、取り組んでいきましょう。

結びに、本日のこども議会開催にあたりまして、ご尽力をいただきました、各中学校の先生
方、また、保護者の皆様、阿南市議会の湯浅議長さんに、心から感謝を申し上げますとともに、
こども議員の皆さんが、今後ますます元気で、そして健やかに成長されますよう、お祈り申し
上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

日程第2 会議録署名議員の指名

湯浅 議長

日程第2 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、加茂谷中学校 町田 晋太郎 議員。新野中学校 岩崎 美羽 議員。
を指名いたします。

日程第3 会期の決定

湯浅 議長

日程第3 会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
こども議会の会期は、本日1日といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定いたしました。

日程第4 市政に対する一般質問

湯浅 議長

日程第4 市政に対する一般質問を行います。通告がありますので、順序に従い、発言を許可いたします。

1班、阿南中学校 岡澤 花琉 議員、二階 優花 議員、前へお進みください。

(1班、阿南中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は6～9ページに掲載)

2班、阿南第一中学校 入口 颯太 議員、金谷 太雅 議員、前へお進みください。

(2班、阿南第一中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は10～13ページに掲載)

3班、加茂谷中学校 町田 晋太郎 議員、澤田 彩音 議員、前へお進みください。

(3班、加茂谷中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は14～16ページに掲載)

議事の都合により、15分間休憩いたします。

1班 阿南中学校

- ・阿南市の観光PRについて
- ・学校生活について（校則など）

(質問) 阿南中学校 3年 岡澤花琉 議員



私たちが住んでいる阿南市には、海や山などの豊かな自然があり、とても魅力的な場所だと思います。しかし、あまり観光客が来ているわけではなく、他の地域の人に知られていないように感じます。

阿南市の観光をもっと多くの人に知ってもらうために、どのような取組をしていく予定なのでしょう。

また、阿南市に高速道路ができると知りました。高速道路ができることによって交通の便が良くなり、経済が活性化するというメリットがあるのかなと思いました。もし他に、高速道路ができることによるメリットやデメリットがありましたら、教えていただきたいです。

(質問) 阿南中学校 3年 二階優花 議員

生徒が安全に、そして落ち着いて学校生活を過ごせるようにするために校則が作られていると思います。しかし、時代の変化や価値観の多様化により「今のままで良いのか」といった見直しの動きも強まっています。

阿南中学校では去年まで靴の色が白限定でした。しかし、今年度より校則の見直しということで「色は問わない」という形に変わりました。他にも体操服の半袖シャツインの廃止など、生徒会を中心に校則の見直しを進めています。

しかし、「これって今の時代に合っているのかな」と思うときがあります。校則や学校生活について、生徒の意見をもっと取り入れるような取組を市としてどう支えていこうと考えていますか。よろしくお願いします。



1 班 阿南中学校

(答弁) 岩佐 市長

はじめに、普段でしたら、岡澤さん、二階さんと呼ばせてもらうのですが、本日は、模擬議会ということですので、皆さんのことを、市議会本会議と同じように「議員」と呼びさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、阿南中学校、岡澤花琉議員の阿南市の観光PRについてのご質問にご答弁いたします。

阿南市の観光をもっと多くの人に知っていただくために、どのような取組をしていく予定なのか、とのお尋ねですが、本市には、室戸阿南海岸国定公園内の美しい海岸線や、橘湾が眺望できる「津峯山」、たけのこやあわび、さざえなど、豊かな自然が産み出す食材など、魅力あふれる自然や新鮮な食材を生かした食事といった観光資源が数多くあります。

私たちが誇る本市の素晴らしい観光資源を市としてどのように発信していくかは、議員からお話があったように、市の観光戦略の要となる大変重要な課題であると考えております。

現在行っております取組といたしましては、阿南市観光協会など、関係機関と連携し、同協会のホームページやインスタグラム、フェイスブックなどのSNS、広報あなんの動画版等を通して、本市の観光情報を発信しています。また、県外で開催される観光イベントにも積極的に参加し、観光パンフレットの配布や特産品の販売を通じて阿南の魅力を広く伝えております。その一方で、議員のおっしゃるとおり、市外の方々に本市の魅力を十分に届け切れていないという課題もあります。

そのような中、現在開催中の大阪・関西万博では、関西パビリオンにおいて、本市・水井町の若杉山辰砂採掘遺跡から出土した弥生時代の赤色顔料の原料となります「辰砂」という鉱石と、その辰砂を粉にするために使われていた石器が展示されています。この遺跡は、弥生時代から古墳時代初頭にかけて辰砂を採掘していたことが明らかとなった、全国唯一の遺跡であります。こうした歴史的価値の高い本市の宝が各国から訪れる人々の目に触れていることに大きな誇りを感じ、これを絶好の機会と捉え、私も万博来場者に対し阿南市の魅力をPRするとともに、早速、市ホームページやフェイスブックでも発信を行っております。

さらには、インターネットを通じた情報収集が主流となっている現状を考慮し、SNSやホームページを活用した情報発信をより充実化させてまいります。具体的には、観光客が何を求めているかを分析し、そのニーズに応じた情報提供や、季節ごとの観光地・グルメなどを組み合わせるなど、心に届くPRを行ってまいりたいと考えています。

加えて、より多くの外国人にも本市の魅力を知っていただくため、SNSの多言語化も進めてまいります。

さらに、本市と那賀町、海部郡の3町で構成する「みなみ阿波観光局」では、県南部地域が一体となった観光戦略を推進しており、観光ツアーや教育旅行の誘致、地域の魅力発信などに取り組んでおります。この広域連携によって、より多くの方々に本市をはじめとした県南部地域の魅力を知っていただきたいと考えております。

1 班 阿南中学校

こうした取組を通じて、本市が誇る豊かな自然や歴史、文化、食などの魅力を、国内外の皆さまに発信してまいりますので、中学生議員の皆さんも、地元阿南市に誇りをもっていただき、これからの阿南市の素敵な未来づくりに、ぜひご協力ください。

次に、二階優花議員の、校則や学校生活に生徒の意見をもっと取り入れるような取組についてのお尋ねですが、阿南中学校における校則の見直しは、生徒会を中心として、生徒の皆さんが主体的に取り組まれた点において素晴らしいと感じました。

特に、生徒会本部役員から、なぜこの髪型や靴がいけないのか理由を説明し、こんな髪型や靴ならいいのではないかというアイデアを提示して生徒の皆さんから意見を求め、その意見を反映させたことは、より良い学校生活に向けて、生徒の皆さんが主体的に参画する学校づくりにつながるものと考えております。

そして、校則の見直しを一つのきっかけとして、生徒の皆さんが様々な意見やアイデアを出し合い、議論して、自分たち自身で更に良い学校にしていかれることを期待しています。

阿南中学校以外でも、こうした生徒の意見を反映させた校則の見直しが進んでいることは承知しておりまして、自分たちの学校をより良くしていくために、生徒が主体的に参画する学校づくりを今後更に活発にしていく必要があると考えております。

そこで、教育委員会ともこの認識を共有し、校則の見直しを含め、生徒が主体的に参画する学校づくりの推進を、私と教育委員会が市の教育のあり方について議論する阿南市総合教育会議での議題に取り上げ、阿南中学校での取組を1つのモデルとして提示しながら、その方法について議論し、出された意見を具現化することで、学校づくりに生徒の意見を取り入れ、反映させる取組を支援していきたいと考えております。

以上、お答えとさせていただきます、他のご質問については、教育長及び建設部長からお答えいたします。

1 班 阿南中学校

(答弁) 坂本 教育長

二階優花議員からのご質問にお答えいたします。

学校現場で勤めた経験から、学校生活について生徒の意見をもっと取り入れてほしいという思いは、よく分かります。

その意味で、阿南中学校における生徒会を中心とした校則の見直し取組は、生徒が校則の意味を理解し、主体的に守ろうとする意識の醸成を図る好事例であると考えており、今後皆さん自身の手で自分たちの学校をより良くしていこうとする活動につながるものと期待しています。

このように、生徒が主体的に学校づくりに参画する取組を推進するためには、まず、生徒の意見表明する機会を確保することが重要となります。

教育委員会といたしましては、皆さんの個性を伸ばすことに力を入れている岩佐市長さんとも、しっかり連携しながら、生徒が学校生活をより良くするための様々なアイデアを意見表明できる機会を設けることにより、自分たちの学校をより良くしていこうとする実践的な態度の育成を図る取組を推進してまいります。

以上、ご答弁いたします。

(答弁) 藤本 建設部長

岡澤花琉議員の高速道路のメリット・デメリットについてのご質問にご答弁をいたします。

ご質問にもありましたとおり、現在、国土交通省で整備を進めております、徳島南部自動車道の阿南インターチェンジから小松島南インターチェンジ間が令和7年度中に開通予定となっております。現代の私たちの生活において自動車は欠かせないものであることから、高速道路ができることで誰にも少なからず影響があります。まず、高速道路ができることによるメリットとしては、移動時間の短縮、定時性の確保、災害に対する安全度の向上などがあります。例えば、神戸・大阪から県南部へのアクセスの向上や、徳島空港からの移動時間も飛躍的に短縮されることから観光誘客につながります。また、農水産物が市場へより早く到着し、輸送費が抑えられることにより、他地域の農水産物に対する競争力の強化につながる、といった効果が期待されます。

また、救急患者を病院へより早く、安静に搬送することが可能になることや、地震や津波にも強い構造であるため、津波によって国道55号が通行不能になっても、徳島南部自動車道や今後南へ延びる高速道路を使って救助の派遣や物資輸送を行うことができます。

次に、対策を講じなければデメリットとなる課題としては、走行速度が速いため事故が発生した場合、重大な事故につながる可能性が高くなることがありますので、交通安全の呼びかけを、より徹底していく必要があります。

以上のように、道路は使い方によって様々な効果をもたらしてくれます。

今後、既設の高速道路とつながったり、南へ延伸することによって、より良い効果をもたらすよう現在、阿南インターチェンジ周辺を経済活動に活用すべく検討を進めております。

以上、お答えとさせていただきます。

2班 阿南第一中学校

- ・豊かな自然を生かした観光PR
- ・学校給食について



(質問) 阿南第一中学校 3年 入口颯太 議員

今日は、阿南市や徳島県の「自然を生かした観光PR」「学校給食」の2つについて、質問また意見を述べさせていただきます。

まずは、「自然を生かした観光PR」についてです。

現在、阿南市ではどのようなものや、場所を観光資源とし、どのようにPRしているのでしょうか。阿南市や徳島県は、森や山に囲まれ、美しい川も流れています。そして、「光のまち阿南」という言葉があるように、豊かな自然とLEDによる人工の光の融合による新たな観光名所、観光資源を獲得しPRしていければ良いと考えます。

また、古くからの神社やお寺、城の跡地など、歴史を感じ学べる場も多くあります。このようなものも、観光資源として有効に活用できれば良いと考えます。

観光地へのアクセスの改善も、より観光客を集めるための重要な点だと考えます。

その他にも、若者をターゲットとした大型ショッピングモールの建設や、外国人観光客に目を向けてもらえるよう、伝統的な阿波人形浄瑠璃、藍染め、大谷焼きなどをより盛り上げたり、金長まんじゅう、ぶどうまんじゅう、すだちを使用したお菓子などをより有名にしたりしてはどうでしょうか。

阿波踊りだけではなく、伝統的な文化や食をPRしていくことも必要だと考えます。

また、このような伝統的工芸品や食を購入できる売り場を阿南市内に作ることで集客を望めると考えます。

それから、こどもも楽しめるような、山や川、海を使用した、自然を感じられるアクティビティなども盛んにしていけば良いと考えます。

そして、PR活動としてSNSを効果的に使うべきだと考えます。阿南市や徳島県の公式として情報を発信するのもいいですが、徳島県出身の方や、徳島県を好きな芸能人やインフルエンサー等の影響力・発言力を持った人に協力を依頼し、発信してもらうことが、より効果的なPRにつながると考えます。

2班 阿南第一中学校

(質問) 阿南第一中学校 3年 金谷太雅 議員

次に「学校給食」についてです。

学校給食といえば、全国的に2026年度から小学生の給食費が無償化されることが話題となっています。阿南市は今年から中学3年生の給食費が無償化されるということで、具体的にどのような財源から無償化が実現したのでしょうか。

また、中学生の無償化も段階的に行うとのことですが、順調にいけば、いつ頃から実現可能でしょうか。

給食費の無償化というのは、メリットが多いものだと考えます。単純に給食費を家庭で負担せずにするようになることや、給食費の集金の手間や、滞納対応など学校側の負担も減ることになります。

一方、現在は少子高齢化、それにより社会保障費の増大と、財政上で問題が多くあります。そのような中、給食費の無償化が実現したのには、どのような背景があるのですか。公共のものがなくなったり、財源を得るため、市民・県民に新たな負担があったりするようなことはないのででしょうか。



2班 阿南第一中学校

(答弁) 岩佐 市長

阿南第一中学校、金谷太雅議員の学校給食に関するご質問にお答えいたします。

学校給食費無償化は、議員さんからお話があったように、家庭の経済的負担が軽くなるだけでなく、学校の先生方が集金の対応にかけている時間も減り、事務負担の軽減にもつながり、教育的効果も大きいと考えております。

こうした意義を踏まえ、就職や進学を控えた子育て世帯の保護者の負担を軽減するため、まず、本市独自の取組といたしまして、本年9月から、本市在住の市立中学校3年生を対象に、学校給食費の無償化を実施することとしております。また、市外や市立中学校以外の中学校に通学している中学校3年生や、食物アレルギー等の理由により学校給食費無償化の恩恵を受けられない中学校3年生についても、公平に保護者の負担を軽減する必要があると考えていることから、本市在住の全ての中学校3年生が学校給食費無償化の恩恵を受けることができるような制度づくりを進めているところであります。

財源につきましては、本市において従来から市単独事業で行っております「保育料無償化施策」のうち、0歳児から2歳児分につきましては、本年9月から県事業として新たな支援が行われることになりまして、子育て世帯の支援を図るべく、その県支出金相当分が年間約5,000万円であり、これを中学校3年生の給食費無償化分として活用することにより、市としての新たな負担は発生いたしません。

一方で、国は、「給食無償化は小学校を念頭に、令和8年度に実現し、中学校への拡大もできる限り速やかに実現する。」という方向性を示し、現時点では、学校給食費無償化の内容及具体的な財源については示しておりませんが、行政をより一層効率的に運営するための改革を行い、安定的に財源を確保するとしていることから、市民や県民に新たな負担は生じないものと考えております。

また、市町村が独自にかつ継続的に全ての小中学校給食費を無償化にすることは、多額の費用が必要であり、教育の機会均等の立場からも、居住している地域によって教育費負担の差が生じないように、私自身が先頭に立ち、全国一律の学校給食費無償化の早期実現に向けて、全国市長会や県市長会議において提案し、引き続き、強く要望してまいりたいと考えております。

学校給食は、すべての子どもたちが安心して、栄養バランスの取れた食事を毎日食べられるようにする、大切な取組であります。さらに、食べ物の大切さや正しい食習慣を学ぶ「食育」の場でもあります。本市では、引き続き地元でとれた米や野菜等を使った献立を取り入れ、地産地消を進めながら、地域の食文化や農業への理解を深めてまいります。

以上、お答えとさせていただきます、他のご質問については産業部長からお答えいたします。

2班 阿南第一中学校

(答弁) 中橋 産業部長

入口颯太議員の阿南市では、豊かな自然を生かし、どのようにPRしているのか、とのご質問にお答えいたします。

国定公園内の風光明媚で美しい海岸線や、四国最東端の地・蒲生田岬から望める壮大な景色をはじめとして、「豊かな自然」は本市にとっての大きな観光コンテンツであり、その中でも、議員からお話がありました「豊かな自然の恵み」を見て楽しむだけでなく、「スタンドアップパドルボード(SUP)」や「サーフィン」、「地引き網体験」など、訪れた人が自然を身近に感じ、阿南市ならではの思い出を作れる体験型観光ツールも多く提供しております。

こうした本市の「自然」や「体験」の魅力をもPRするため、阿南市観光協会と連携し、インスタグラム等のSNSやホームページ、広報動画など様々な媒体で情報を発信しています。また、観光パンフレットも、自然、歴史・文化、体験、食とテーマごとにまとめ、楽しみ方に沿って分かりやすい構成としています。今後は特にSNS発信の頻度や内容を強化し、若い世代にも届く工夫を進めてまいります。

また、「豊かな自然」が産み出す伝統工芸品や食を購入できる場所を市内に作ってはどうかとのご提案につきましては、現在、地域の特産品を手にとっていただける拠点として、「公方の郷なかがわ道の駅」や阿南駅前の「光のまちステーションプラザ」があり、海の幸や山の幸に加え、「竹人形」などの地元の特産品を販売しています。

これらの施設は、市の観光情報の発信拠点として、今後、市民の皆さまや市外からの観光客にもっと立ち寄っていただける魅力的な施設となるよう現在検討を進めているところです。

また、本市に人を呼び込むためには、交通アクセスの向上が重要です。現在、下大野町の日垂化学工業本社地周辺で、徳島南部自動車道・阿南インターチェンジの建設が進んでおり、今年度内には「小松島南インターチェンジ」までの3.2キロが開通する見込みとなっております。本市としても、早期の全線開通を期待しているところです。

さらに、議員からご提案をいただきました発信力のある方々によるPRにつきましては、大変有効な手段であると考えます。その1つとして、本市のご出身で、スポーツや芸能など様々な分野の第一線でご活躍されている6人の方々を「阿南ふるさと大使」として委嘱し、市のPR活動を担っていただいております。中でも、桑野町出身の「武知実波」さんは、県内初の女性プロサーファーとして県内外から参加者を集めてサーフィンのイベントを行うなど、本市の魅力発信にご協力いただいておりますので、今後もこうした発信力のある方とも連携しながら、本市の魅力をも全国に向けて発信してまいります。

以上、お答えとさせていただきます。

3班 加茂谷中学校

- ・「ラーケーション」の導入について
- ・阿南市の特色ある学習の取組を教えてください

(質問) 加茂谷中学校 3年 町田晋太郎 議員



徳島県では、後藤田知事が「ラーケーション」という制度を導入すると発表しました。

児童生徒が保護者と一緒に、平日に校外で体験活動や探究の学びなど、活動を自ら企画し実行する日で、保護者等の休みに合わせて家族との時間を確保し、こどもの今の生活を振り返り、今後についてゆったりと話し合う機会を創出するための日だと聞いています。

学校以外で学べることも大切なので、この政策は素晴らしいと思います。

阿南市でも、そのような魅力ある取組を行う予定はありますか。

(質問) 加茂谷中学校 3年 澤田彩音 議員

阿南市の特色ある学習の取組を教えてください。

私は、違う地域の中学生と交流し、互いの地域についての魅力を伝え合う取組をして欲しいです。そうすれば、阿南市の魅力を他の地域の中学生にたくさん知ってもらえるし、いろいろな地域の特色も知ることができると思うからです。それに、その地域の中学生が行っている取組を知り、私たちの地域での取組のヒントをもらえるかもしれないからです。

いろいろな学校のたくさんの中学生と関わりたいです。阿南市の魅力が他の地域にも、もっと広がって欲しいと思っています。そのためにも学校間の移動がしやすい市内の学校が利用できるスクールバスを導入して欲しいです。



3班 加茂谷中学校

(答弁) 岩佐 市長

加茂谷中学校、町田晋太郎議員のラーケーションの導入についてのご質問にご答弁申し上げます。

「ラーケーションの日」制度につきましては、保護者等の休暇に合わせて平日に取得することができ、学校ではできない体験や探究の学び、活動等を自ら企画し実行することで、家族で過ごす時間を増やしたり、校外での自主的な学びや活動の機会を創出したりできるメリットがあるものと承知をしています。ご質問の中でありました、学校以外で学ぶことの大切さというものは、私も共感いたします。日頃の学習、勉学とともに、私自身も小学校から、中学生、高校生のときに、さまざまな学習以外の経験もしたところではありますが、こうした経験というのが、今の自分の中での基軸になっておりまして、こうした経験をしていくことは大変重要だと思っております。

本市におきましても、教育委員会と認識を共有し、「ラーケーションの日」制度の早期導入に向けて、より一層前向きに検討する必要があると考えております。

また、本市におきましては、他の自治体に先駆けて、夏休み明けの5日間を「ゆったりスタート期間」とし、全市一斉に小中学校の授業を短縮する取組を行っております。今後も、教育委員会とともに、より良い学校教育が推進できるよう積極的に取り組んでまいります。

以上、ご答弁とさせていただきます、他のご質問については教育長からご答弁を申し上げます。

3班 加茂谷中学校

(答弁) 坂本 教育長

澤田彩音議員の阿南市の特色ある学習の取組についてのご質問にお答えします。

まず、皆さんが阿南市を大好きで、その魅力を他の地域の中学生にも伝えたいという素晴らしい気持ちを伝えてくださり、大変うれしく思います。その熱意をしっかりと受け止めていただきました。

ご質問いただいた阿南市の特色ある学習ですが、阿南市は海、川、山の豊かな自然と、多様な産業に恵まれたまちです。市内には9つの中学校があり、それぞれの地域性を生かした特色ある取組が行われています。例えば、皆さんの加茂谷中学校には地域を挙げての「加茂谷鯉まつり」があるように、他の中学校では40年以上続く人権劇や、「あいさつ日本一」を掲げた挨拶運動、また、部活動でもジャズバンド部、マンドリン部、民芸部といった、他の地域の中学生に知ってほしい、ユニークな活動が盛んに行われています。

皆さんからご提案のあった、他の地域の中学生との交流については、これまでもそれぞれの学校の特色を伝える交流を行ってきた実績もありますが、移動手段の確保などの課題がありました。

今回、交流を活発にするためのスクールバス導入のご提案、ありがとうございます。実はこの春から、阿南市で初めてとなるスクールバスを阿南第二中学校に導入しました。今後、このスクールバスを学校間の交流にも活用できないか、具体的な取組を始めていきたいと考えております。

さらに私からの提案ですが、スクールバスでの移動以外にも、新しい交流の形として、皆さん一人ひとりに配られているタブレットを活用したオンラインでの交流も可能ではないかと考えているところです。これなら、より手軽に、たくさんの学校とつながることができるでしょう。

皆さんの「他の学校の中学生と関わりたい」「阿南市の魅力を広めたい」という前向きで純粋な気持ちに答えられるよう、これからも阿南の教育を発展させてまいります。ぜひ、皆さんの新しいアイデアも教えてください。これから一緒に、阿南市の魅力をさらに広める取組を進めていきましょう。

湯浅 議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

1 班、阿南中学校 岡澤 花琉 議員、二階 優花 議員、前へお進みください。

(1 班、阿南中学校の議員の感想・意見は 18 ページに掲載)

2 班、阿南第一中学校 入口 颯太 議員、金谷 太雅 議員、前へお進みください。

(2 班、阿南第一中学校の議員の感想・意見は 18 ページに掲載)

3 班、加茂谷中学校 町田 晋太郎 議員、澤田 彩音 議員、前へお進みください。

(3 班、加茂谷中学校の議員の感想・意見は 18 ページに掲載)

4 班、阿南第二中学校 吉原 莉乃 議員、芳川 心春 議員、前へお進みください。

(4 班、阿南第二中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は 19～22 ページに掲載)

5 班、福井中学校 中川 陽葵 議員、宮崎 媛歌 議員、前へお進みください。

(5 班、福井中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は 23～25 ページに掲載)

6 班、新野中学校 岩崎 美羽 議員、尺長 紗和子 議員、前へお進みください。

(6 班、新野中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は 26～28 ページに掲載)

議事の都合により、15 分間休憩いたします。

《答弁を受けての感想・意見》

1 班 阿南中学校



岡澤 花琉 議員

ご答弁ありがとうございました。阿南市の魅力をもっと知っていただくために、いろいろな取組をしていることが分かりました。ですが、それに加えて、阿南市の商店街をもっと盛り上げてほしいです。



二階 優花 議員

ご答弁ありがとうございました。私は生徒会役員として、できる限り、生徒のことを考え、校則を変えていきたいし、今後も、生徒会だけでなく、生徒一同力を合わせて、学校をより良くしたいと思いました。

2 班 阿南第一中学校



入口 颯太 議員

質疑に真摯に向き合い、適切な答弁をいただきありがとうございました。阿南市で現在行われている観光PR、海を利用したアクティビティの展開、有名人によるPRなど、新たに知ることも多くあり、よい経験をさせていただきました。自分自身もより一層阿南市を知り、一人の市民として、魅力を伝えていきたいと思いました。



金谷 太雅 議員

ご答弁ありがとうございました。答弁を聞き、財源については安心できました。アレルギーなどのある生徒が恩恵を受けられないという現状に対して、どのように対応しているか知ることができました。

3 班 加茂谷中学校



町田 晋太郎 議員

ご答弁ありがとうございました。ラーケーションが導入された際には、ぜひ家族と一緒に過ごす時間をつくりたいと思います。



澤田 彩音 議員

ご答弁ありがとうございました。提案していただいたオンラインで他校とつながる取組はとても素敵だなと思いました。このような取組をきっかけに私が大好きな阿南市の魅力がたくさんの学校に広がっていくのをとても楽しみにしています。ありがとうございました。

4班 阿南第二中学校

- ・20年後の阿南市について（少子高齢化について）
- ・防災対策について

（質問） 阿南第二中学校 3年 芳川心春 議員



20年後の阿南市を想像すると、少子高齢化が進み、人がいなくなり、阿南市がどんどん寂しい都市になるのではないかと心配しています。また、高齢化が進み、「仕事が続けられない」や「後継者不足」につながると考えます。

原因として、都市部の方が働き口がたくさんあり、街自体も魅力的な施設やイベントが多いので、人がどんどん都市部の方に出ていくのだと考えます。少しでも、地元阿南を盛り上げ、帰る場所、帰ってきたくなる場所をつくる取組を進めていただけたらと思います。提案として、ゲームセンター、スポッチャ、ボーリング、カラオケ等の複合施設を建設してはどうか。

季節に応じてイベントを開催してはどうか。イベントとしては、春は桜まつり、夏は鯉まつりや地域の夏まつり、秋と冬がないと感じたので、秋は地元食材を使ったフードフェスを実施してはどうか。冬は日亜化学工業さんと協力して、イルミネーションを飾ってはどうかと思えます。

（質問） 阿南第二中学校 3年 吉原莉乃 議員

近い将来、南海トラフ地震など大災害が起こると言われています。避難訓練は学校行事として年に2回実施し、スムーズに避難できるようになりました。しかし、避難してからの流れや、防災グッズの使い方の知識が曖昧です。私たち阿南第二中学校は昨年、避難所開設体験をしましたが、1回ではなかなか知識を身につけることができませんでした。避難所で中学生でも役に立つことはたくさんあると思うので、もっと防災のことについて知りたいと感じました。

提案として、学校行事の中で防災公園などに行き、避難所施設を体験したいので、レクチャーしてくださる方を派遣してほしい。夏と冬で内容が違ってもいいので、年に2回程度と考えます。

また、防災検定などを行い、防災士の充実を図り、中学生でもリーダーとなり、避難場所での役割を担う存在になりたい。そのための補助金などを援助してほしいです。



4 班 阿南第二中学校

(答弁) 岩佐 市長

阿南第二中学校、芳川心春議員の「20年後の阿南市について」お答えします。

阿南市では、これからのまちづくりについて幅広い観点から検討し、総合的な方向性と長期的なビジョンを示す「阿南市総合計画 2025▶2028」を昨年度策定しました。その中で、2028年の都市像を「輝く個性を育む 自然と調和した産業都市 阿南」と定め、その実現に向けて様々な取組を進めています。

大きな方向性としては、「JR沿線」と「高速道路周辺」という両面から、阿南駅周辺の再整備や高速道路開通という大きなプロジェクトを弾みにして、今まで以上に阿南市のポテンシャルを高め、まちの魅力向上につなげてまいります。

具体的には、阿南駅周辺では老朽化した市民会館と阿南図書館が閉館したことから、市民会館跡地に新しい図書館の建設を進めているところであります。図書館機能だけでなく、学習スペースや、若い世代向けのコーナーなどの複合機能を備え、多様なニーズに応じることができる施設として今年度から設計に着手しており、早期完成を目指しております。完成すれば、若者を含むさまざまな世代が交流し、にぎわいを生み出す拠点としたいと考えています。

また、令和7年度中には、徳島南部自動車道の阿南インターチェンジが開通予定です。将来的に徳島津田インターチェンジまでつながれば、徳島市方面はもとより、近畿圏からのアクセスも飛躍的に向上し、市の立地条件が良くなります。その結果、議員ご提案の娯楽施設等の誘致の可能性も広がるものと期待をしております。

次に、秋と冬のイベントについてご意見をいただきましたが、本市では年間を通じて多彩な催しを実施しており、秋と冬にも魅力的なイベントがあります。

秋のイベントとしましては、毎年11月に阿南まちゼミの会が中心となり、阿南駅周辺において「あなんまちマルシェ」が開催されております。多彩な店舗が出店し、特産品を使った料理やお菓子、手作り雑貨などを販売し、今年で開催8回目を迎え、秋の恒例行事となっています。

そして冬には、阿南市観光協会が主催する、LEDイルミネーションを牛岐城趾公園などで開催しており、「光のまちあなん」としての市の魅力を一層高めています。

また、2月には、市役所などを会場に、市内の中小企業を中心に、商品やサービスをPR・販売する「活竹祭」が行われ、本市と連携する県外の自治体も参加し、市内外の特産品を購入できる貴重な機会として、多くのにぎわいと交流を生み出しています。

これらのイベントは、市内事業者の皆さんが中心となり、市と一緒にあって作り上げております。今後も、地域経済の活性化やにぎわいづくりにつなげるとともに、地元企業や商品の魅力を直接感じていただける機会を広げてまいりますので、中学生議員の皆さんをはじめ、ぜひ多くの皆さまにご参加いただき、一緒にまちを盛り上げていただければと思っています。

4 班 阿南第二中学校

さて、これから 20 年後の阿南市を想像してみます。皆さんでいえば 35 歳、36 歳という年齢だと思いますが、今でもありますが、A I やテクノロジーは加速度的に進歩しています。こうした進歩により、私たちの暮らしや、まちの姿は、現在からは想像もできないほど大きく変わっていることと思います。娯楽やエンターテインメントなどの価値観も新しくなっているのではないのでしょうか。

一方で、人口減少や後継者不足、労働力不足などの課題は依然として残されています。これらを解決するためには、地域ごとの創意工夫やテクノロジーの導入など、魅力ある独自の取組が重要となってきます。

阿南市では、こうした課題解決に向けて「阿南市総合計画 2025▶2028」を強力に推進し、その成果を 20 年後の未来へとつなげることで、持続可能でより良い本市の実現を目指してまいります。

これからの未来を担う皆さんには、それぞれの輝く個性を大切に育み、「こんな阿南市がいいな」「こんな阿南市に住みたいな」と想像していただき、積極的に発言していただき、行動へとつなげていただきたいと考えています。皆さんの声や行動が、市の未来をさらに明るくしていきます。

私たち行政も、今回のこども議会のように、こども・若者が意見を自由に発信できる場を積極的に設け、その声をしっかりと受け止め、魅力と将来性あふれるまちづくりの実現に全力で取り組んでまいります。

以上、お答えとさせていただきます、他の質問については危機管理部長からご答弁申し上げます。

4班 阿南第二中学校

(答弁) 川端 危機管理部長

吉原莉乃議員の防災対策についてのご質問に順を追って、ご答弁いたします。

本年2月9日に、阿南第二中学校を会場として、避難所開設・運営訓練を実施いたしました。当日は阿南第二中学校の先生方をはじめ、生徒の皆さんにもたくさん参加していただき、本当にありがとうございました。

訓練当日は、限られた時間ではありましたが、避難所の開設・運営について、「わからなかったこと」や「できなかったこと」に気づいてもらえたことは、中学生の皆さんが真剣に訓練に取り組んでいただいた結果であり、本訓練を実施した大きな成果であったと感じています。

ご質問の防災公園等におけるレクチャーを行う人の派遣についてでございますが、本市では、これまで地域の防災公園等において、市職員が防災士の方と連携して、防災公園に備えてある各種災害用備品や「かまどベンチ」などの使い方の訓練を実施しておりますので、是非ご参加いただきたいと思っております。

また、本年6月には、加茂谷中学校において、防災出前講座を行いました。当講座は、大規模災害などに備えるため、市と県が連携しながら、各個人、家庭等でできる防災対策などを行う講座でございますので、受講してほしいと考えています。

さらに、本年4月には、防災・減災対策など危機管理全般にわたる幅広い施策について専門的な立場から助言等を得ることを目的として徳島大学大学院准教授の金井純子さんと防災士の青木正繁さんの2名の方に「防災減災・危機管理アドバイザー」を委嘱いたしました。

企業・自治体・学校・家庭など、あらゆる分野で専門分野を生かした防災対策等の指導・助言をしていただくことができます。今後、学校行事等においてレクチャーの要望があれば、「防災減災・危機管理アドバイザー」や「本市職員」を派遣いたしますので、防災について、より詳しく学んでいただき、防災の知識や経験を深めていただきたいと考えています。

次に、防災士となるための補助金などの援助等についてのご質問でございますが、本市では、補助金による支援は行っておりませんが、それに代わる支援として、多くの市民の方が防災士の資格を取得していただけるよう、資格取得のための講習や試験日程の周知・広報や各種手続きの補助等のきめ細やかなサポートを行っております。

また、徳島県防災人材育成センターが資格取得に必要なための講座として「徳島県防災士養成研修」を年3回実施しており、3回目は来年1月11日曜日と12日祝日の月曜日に開かれます。防災士資格取得には年齢制限がありませんので中学生の皆さんも、当講座を受講していただきたいと思っております。

知力・体力・想像力にあふれる中学生の皆さんが地域の若き防災リーダーとなることは、防災士の会も望んでいるところであり、本市の防災力強化につながるものと考えていますので、今後におきましては、中学生の皆さんが、あらゆる災害の場面で活躍できるよう、資格取得の支援を含めた、若き防災リーダーを育成できる取組を進めてまいります。

以上、ご答弁とさせていただきます。

5班 福井中学校

- ・防災対策について
- ・人権教育について

(質問) 福井中学校 3年 宮崎媛歌 議員



福井中学校では防災教育を積極的に行い、地域の方と協力して災害の被害を減らせるように取り組んでいます。

今年は夏休みに、日本赤十字社徳島県支部と福井町婦人会と協力して災害時の炊き出し訓練を行いました。全学年で協力して、カレーや蒸しパンなど作りました。災害時における地域との連携、人とのつながりの大切さを実感することができました。

防災学習を通して、私たちは阿南市における防災対策と災害時の人権について気になることがあるので質問します。

まず、防災対策についてです。阿南市では学校の統廃合が計画、進行し、現在、椿町中学校の生徒は阿南第二中学校への通学車や通

学バスでの通学が始まっています。福井中学校も統合となった場合は、車やバスでの通学方法が考えられます。

そこで、現在、通学時における防災対策にはどのような対策がとられていますか。また、通学バスや通学車で被災した場合における避難地点の確認、通学車やバスの防災備品・備蓄の用意、地域との防災訓練の計画などはありますか。

(質問) 福井中学校 3年 中川陽葵 議員

続いて災害時の人権についてです。

去年は、「福井町ふるさと人権フェスティバル」にて避難所運営における人権を題材とした人権劇を上映し地域に向けて情報発信を行いました。人権劇は40年以上続く伝統的な行事となっています。

また、「福井町ふるさと人権フェスティバル」は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層が参加し、地域と深く関わるものです。福井町全体で「人権のまち」を目指しています。

福井町など、阿南市の中心地から離れた地域が被災した場合、復興までに教育や医療を受けたり、生活する方への支援や補助はありますか。

能登半島地震の場合は、転校や新しい生活を行うために地元を離れる人たちがいますが、福井町の人々の場合にも受け皿となるように考えられている場所はありますか。



5 班 福井中学校

(答弁) 岩佐 市長

福井中学校、中川陽葵議員、宮崎媛歌議員の、被災後の復興がままならない状況における一人ひとりの命や暮らしを尊重する支援体制についてのご質問にお答えいたします。

阿南市地域防災計画では、南海トラフ巨大地震等の災害が発生し、揺れによる家屋の損壊や津波の浸水による被害が出た場合、避難者数は最大2万8,100人を想定しており、その避難者を受け入れる避難所は、市内145施設、3万706人の避難者を収容可能としており、市外への避難を強いられることはないと考えております。

教育については、小学校や中学校を始めとする、各教育機関においては、発災後、できる限り早い時期に、地元の学校等で、授業等を再開できるように努めていますが、学校の建物損壊や避難した施設が地元から遠く離れるなど、地元の学校に通学できない状況となった場合は、被害の少ない学校等に通学することになります。そのような場合においても、授業の進捗状況や生徒ごとの情報等を各学校間で連携・共有してスムーズに引き継ぎ、避難先の学校等で受け入れできる体制づくりを進めています。

また、医療については、大規模災害発生時には、医療救護所を市内14地区に、それぞれ1箇所以上設置し、阿南市医師会及びNPO法人AMDAが各協定に基づき、医療救護所の運営を行い、常用しているお薬などの情報を引き継ぐなど、避難所生活においても継続した医療が受けられる支援を行うとともに、仮設住宅等での避難生活で地元を離れることになった場合の、孤立感やストレス等の精神的負担の軽減が図られるよう、保健師等の巡回指導による精神的支援に努めてまいります。

今後におきましても、教育機関や医療機関等と連携・協調し、皆さん、お一人お一人の安全・安心をしっかりと確保してまいりますので、皆さんも、避難訓練をはじめ、本市の災害対応力向上に、引き続きご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

以上、お答えといたします。

他のご質問につきましては、教育長からご答弁を申し上げます。

5班 福井中学校

(答弁) 坂本 教育長

中川陽葵議員、宮崎媛歌議員の防災対策についてのご質問にご答弁いたします。

学校の統廃合に伴う通学時の安全確保、特にスクールバスや通学車での防災対策についてご質問いただきました。スクールバスの運行においては、何よりも皆さんの安全を確保することが最も大切です。そのために、市では「スクールバス運行管理マニュアル」を整備しています。このマニュアルは、教育委員会、学校、そしてバスの運行会社が共有し、緊急時に備えて万全の体制をとるためのものです。ご質問にあった、通学バスで被災した場合の避難地点として最寄りの避難場所も記載しています。また緊急時の運転者の役割や学校や保護者への連絡方法など、緊急時の連絡体制を明確にして、生徒の皆さんが安心して通学できるようにしています。防災備品についても、マニュアルに基づき、万が一の状況でも対応できるようスクールバスに応急救急セット等必要なものを搭載しています。

また、「スクールバス運行管理マニュアル」が実際に有効に機能するかを確認するための訓練も重要です。この秋には、運行管理マニュアルに基づいた避難訓練を実施いたします。この訓練は、バスの運転手さんや乗車している生徒の皆さんが、緊急時に適切な行動がとれるようにすることを目的としており、地域の方々のご協力も得ながら実施する予定です。さらに、このような避難訓練を毎年定期的を実施することで、安全な避難行動や必要な防災備品のチェック等、よりきめ細やかな防災対策ができるようになると考えています。

路線バスについても同様の対策がとられ、訓練も定期的に行われています。

今後も、学校や運行会社、そして地域の方々と連携し、生徒の皆さんが安心してスクールバスを利用できる環境づくりを進めてまいります。

6班 新野中学校

- ・ 学校生活について
- ・ 高齢者の生活について

(質問) 新野中学校 3年 岩崎美羽 議員



今の学校生活の中で、元気に遊ぶのが好きな人もいれば、一人で静かに過ごしたい人もいます。しかし、みんなが同じ場所で過ごさなければならぬとストレスを感じる人もいるかもしれません。

そこで、私たちは「穏やかルーム」の設置を提案します。「穏やかルーム」とは、休み時間や昼休みに、本を読んだり静かに過ごしたりできる特別な空間です。気分が落ち込んでいるときや、賑やかな場所が苦手な人が安心して過ごせる空間をつくることで心の健康を守ることができます。また、この取組は、みんなが“自分らしく過ごしているんだ”と思える学校づくりにもつながるはずです。生徒それぞれの個性や考え、気持ちに合わせた場所があることで学校がもっと安心できる場所になると思います。

(質問) 新野中学校 3年 尺長紗和子 議員

最近ではひとり暮らしの高齢者が増え、地域とのつながりが少なくなっていると聞きます。そこで、私たちは中学生と高齢者の方々が交流できる場をつくってあげたいのではないかと考えました。

例えば、地域の集会所などで「昔遊び教室」や中学生による「スマホ相談会」を開き、互いに学び合える機会をつくったらいと思います。

また、「中学生と高齢者の方々との交流イベント」を開くことで、地域のみなさんとのつながりを深めることもできます。

世代を超えたふれあいや交流は、私たちにとっても学びとなり、地域の活性化にもつながると考えます。



6班 新野中学校

(答弁) 岩佐 市長

新野中学校、尺長紗和子議員の、高齢者の生活についてのご質問にお答えいたします。

世代を超えたふれあいや交流の場をつくることは、中学生の皆さんには学びの場となり、地域の活性化にもつながるのではとのご質問・ご提案をいただきました。

阿南市では、高齢者が住み慣れた地域で支え合い、すべての人がいきいきと輝き暮らし続けられるあたたかい地域社会の実現を図るために、各地域の公民館や集会所、老人いこいの家等の施設において、様々な趣味の活動を通じた日中の高齢者の居場所となる「通いの場」を「あななんサロン」として、住民の皆さんが主体となって活動しています。「あななんサロン」における小学生との世代間交流行事としましては、高齢者と小学生と一緒に芋掘りを楽しんだりしています。

また、議員の地元である新野町でも8つのグループがこの「あななんサロン」の活動を継続して行っていていただいております。

この「あななんサロン」において、議員からご提案がありました中学生との世代間交流が実現できれば互いに学び合える機会となり、大変有意義であると考えます。

例示いただきましたが、高齢者がスマホの得意な中学生からスマホの基本操作、通話・動画アプリをはじめ、健康増進に役立つ健康アプリ、読書を楽しんだりする電子書籍アプリなどを教わる「スマホ相談会」の開催、また、高齢者からは竹とんぼ、けん玉、お手玉などの昔遊びをこどもたちに伝える「昔あそび教室」を開催したり、さらには地域に古くから伝わるお祭りや伝統文化を若い世代に継承することが期待できます。

そのようなことから、本市としましては、高齢者と若者がお互いに伝えたいこと、教わりたいことについての「橋渡し」の役割をしっかりと担い、「あななんサロン」の充実をはじめ、世代間の交流の場を積極的に作ってまいりますので、中学生の皆さんにもご協力をお願いしたいと思います。

以上、お答えとさせていただきます、他の質問については教育長からご答弁申し上げます。

6班 新野中学校

(答弁) 坂本 教育長

岩崎美羽議員からの学校生活についてのご提案にお答えいたします。

生徒の皆さんが、休み時間や昼休みの時間を過ごしている場所は、教室の他に廊下や図書室、運動場等が考えられます。その際、一人で静かに過ごしたい人や周りの雑音が気になりストレスを感じる人への配慮が今後必要になってくるとも考えられます。その意味から、提案していただいた「穏やかルーム」の設置は、効果的な解決方法の一つであると考えます。

一方で、「穏やかルーム」を設置するためのスペースの確保や、使い方のルールづくりなど、設置に向けた課題もあります。実現させるためには、教員の考え方だけでなく、生徒の皆さんの意見やアイデアが必要になってきます。生徒の皆さんの活発な議論をとおして、「穏やかルーム」の設置を実現し、新野中学校での取組が十分に検証された上で、他の学校にとってモデルケースとなることを期待しています。

教育委員会といたしましては、提案していただいた「穏やかルーム」のように、学校生活をより良くしていくための児童・生徒からのアイデアを、生徒会活動や委員会活動等の場で積極的に意見表明ができるよう、その機会の確保について校長会等を通じて周知し、児童・生徒の皆さんの積極的な参画についてこれからも推進してまいります。このこども議会のような闊達な議論が各学校においても展開されることを心から希望しております。

以上、答弁といたします。

湯浅 議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

4班、阿南第二中学校 吉原 莉乃 議員、芳川 心春 議員、前へお進みください。

(4班、阿南第二中学校の議員の感想・意見は30ページに掲載)

5班、福井中学校 中川 陽葵 議員、宮崎 媛歌 議員、前へお進みください。

(5班、福井中学校の議員の感想・意見は30ページに掲載)

6班、新野中学校 岩崎 美羽 議員、尺長 紗和子 議員、前へお進みください。

(6班、新野中学校の議員の感想・意見は30ページに掲載)

7班、那賀川中学校 斎藤 つづり 議員、吉岡 陽菜乃 議員、前へお進みください。

(7班、那賀川中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は31～35ページに掲載)

8班、羽ノ浦中学校 遠藤 優斗 議員、野村 旺志郎 議員、前へお進みください。

(8班、羽ノ浦中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は36～39ページに掲載)

9班、富岡東中学校 西谷 咲良 議員、西 栞那 議員、前へお進みください。

(9班、富岡東中学校の議員からの質問及び、それに対する答弁は40～43ページに掲載)

議事の都合により、15分間休憩いたします。

《答弁を受けての感想・意見》

4 班 阿南第二中学校



芳川 心春 議員

ご答弁ありがとうございました。まず、秋と冬のイベントがあるということが知ることができたので、参加できる機会があれば、ぜひ参加し、周りにも広めたいです。また、多様なニーズに応じることができる図書館の建設が進められているということで、できるのが楽しみです。



吉原 莉乃 議員

ご答弁ありがとうございました。防災訓練に参加し、防災への知識をもっと高めていきたいと思えます。家庭でもできることがあると知ったので、身近な人に広め、防災対策をしていきます。

5 班 福井中学校



宮崎 媛歌 議員

ご答弁ありがとうございました。市内 145 施設で避難受入可能と聞いて安心しました。南海トラフ巨大地震に、より備えていこうと思えました。



中川 陽葵 議員

ご答弁ありがとうございました。もし災害が起きた際、人々の安全確保をしてくださるということを聞き安心しました。私たちも、もしものことが起こった場合、しっかり自分たちでも対応できるよう取り組んでいきたいです。

6 班 新野中学校



岩崎 美羽 議員

ご答弁ありがとうございました。「穏やかルーム」の実現には、様々な課題があることが分かりました。ですが、生徒会役員である私が、生徒みんなが安心して過ごせるように、率先してこの提案に向き合っていきます。ありがとうございました。



尺長 紗和子 議員

ご答弁ありがとうございました。高齢者の居場所となる憩いの場を「あななんサロン」として活動していることを知ることができてよかったです。中学生との世代間交流が実現でき、互いに学び合える機会があれば、私も参加したいと思えます。ありがとうございました。

7班 那賀川中学校

- ・ こどもの遊び場所について
- ・ 阿南市の観光 PR について

(質問) 那賀川中学校 3年 斎藤つづり 議員



那賀川中学校の斎藤です。

阿南市のこどものためのまちづくりについて質問をさせていただきます。

私は、阿南市にあるこどもが遊べる場所はとても少ないと思います。那賀川中学校の生徒を対象に、「阿南市にあるこどもの遊び場所は」というアンケートを行いました。すると、「ない」と答えた生徒が9割を超えていました。「ある」と答えた生徒も、近所の公園や空き地で、「これ」と皆が口を揃えて言える場所ではないように感じました。

また、アンケートに「ある」と答えた人の中で最も多かったのは、「公園」でした。

しかし、私は、公園にも、遊具が壊れていたり、そもそも遊具がなかったり、様々な問題があると思います。那賀川中学校の隣の公園には、数年前まで大きな遊具がありました。その公園は近くに住んでいる子や、こどもセンターの子がたくさん利用していました。他にも、遊具の有無に関わらず、たくさんの草が生えていたり、ゴミ問題など、公園の整備ができていないままなのは、なぜでしょうか。

たかが公園、されど公園。アンケートの結果から、こどもの遊び場所として、公園を挙げましたが、今より、多くの子育て世代の移住のきっかけになると思います。少しずつでも、さらなる阿南市の人口増加につながるのではないのでしょうか。

これらのことについて、公園のさらなる増設、整備の予定はあるのでしょうか。もし無いのであれば、なぜ無いのかを教えてくださいたいです。よろしくお願いいたします。

7班 那賀川中学校

(質問) 那賀川中学校 3年 吉岡陽菜乃 議員

那賀川中学校の吉岡です。

阿南市の観光PRについて質問をさせていただきます。

以前、修学旅行についての調べ学習を行ったとき、「沖縄」と検索欄に入力しただけで、「沖縄 観光スポット」「沖縄 訪れるべき場所」などの項目が表示されました。それを見た時、私が住んでいる「阿南市の観光地はどこだろうか」と疑問に思いました。

牛岐城や、新開桜など、いくつか思い浮かぶものがありますが、「阿南市といえばこれ」と言い切れるものは思い浮かびませんでした。

そこで、那賀川中学校の生徒218名を対象に、アンケートを行いました。すると、218名中195名の約9割の生徒が「阿南市の観光地を知らない」と回答をしました。

以上の結果より、阿南市の観光地があまり知られていないのが現状です。阿南市のホームページを使って大々的に宣伝するなどして、知名度を上げることであったり、「光のまち阿南」のキャッチコピーをSNSなどで広めたりするなど、様々な方法があると思いますが、阿南市の観光PRを今後どのように行う予定かを教えてください。



7班 那賀川中学校

(答弁) 岩佐 市長

那賀川中学校のお二人からは、アンケートに基づくご質問をいただいたところでございますが、私からは、斎藤つづり議員のご質問にお答えいたします。

まず、本市における公園は、こどもからお年寄りまで幅広い年齢層の自然とのふれあいやレクリエーション活動、健康増進や憩いの場であり、市民の皆様にとってはかけがえのない大切な場所であると認識しており、私自身も小さい頃は、よく近くの公園で遊んだ記憶が今でも鮮明に残っています。

ご質問の公園整備についてのお尋ねであります。市内には数多くの公園があり、これら公園の草刈りや清掃、ごみ処理等の維持管理については、地域の自治会やシルバー人材センター、NPO法人へ年間委託しているほか、市の職員も草刈りや清掃業務を行っております。

また、現在、市内2箇所の公園においては、社会福祉法人や民間事業者にご協力をいただき公園の清掃等美化活動を行う「パークアドプト事業」を実施し、市民等との協働によるまちづくりを推進しているところであります。

このように、多様な主体にご協力をいただき、様々な工夫をしながら公園の維持管理に努めておりますが、夏場などは草木の成長が早く、草を刈ってもすぐに生えてくるといった状況であり、公園の維持管理には大変苦慮している面もございます。

そのため、今後におきましては、「パークアドプト事業」をより広く周知し、市民等との協働によるまちづくりを積極的に推進してまいりたいと考えておりますので、議員の皆さんにも、こうした活動にご協力をいただけましたら、大変嬉しく思います。

また、公園の遊具に関してであります。比較的規模の大きい公園につきましては、「公園施設長寿命化計画」を策定し、順次遊具の更新や修繕に取り組んでおり、その他の公園につきましても、毎年、遊具等の安全点検を実施しておりますが、点検結果によっては、公園の利用頻度等を踏まえ、やむを得ず撤去を行う場合や使用中止措置をとった上で修繕等を行っている状況であります。

次に、公園の増設及び改善に関するお尋ねであります。現時点では増設の計画はありません。それよりも今ある公園をいかに適切に維持管理していくかということに軸足を置いて取り組んでおりますが、市内すべての公園の維持管理には多額の費用を要するため、今後は、国の補助金の活用や外部資金の獲得など、我々としてもより一層努力し、利用者の声を大切にしながら計画的かつスピード感を持って公園遊具の更新等を行ってまいりたいと考えております。

また、これらに関連して、議員が通う那賀川中学校周辺においては、那賀川社会福祉会館や那賀川支所等の公共施設がございますが、いずれも老朽化が顕著なことから、公共施設の再編や持続可能なまちづくりを推進するため、「那賀川町複合施設整備基本構想」を本年3月に策定しております。

7班 那賀川中学校

この基本構想では、那賀川町エリアにおける既存の公共施設の集約化複合化を図り、新たに複合施設を設置する予定としておりますが、施設完成後の周辺イメージでは、議員からお話があったように那賀川中学校の隣の公園の再整備も構想に入れておりますので、公園整備の際には、是非、皆さんからも色々なアイデアを出していただき、「たくさんのこどもが集い、安心して楽しんでいただける公園」を作り上げていきたいと考えております。

なお、移住などの対策といたしまして、例えば那賀川町においては、「那賀川町複合施設整備基本構想」の実現や現在実施しております「道の駅公方の郷なかがわ」のリニューアルなど地域全体の魅力を高め、その魅力を発信していくことが重要であると認識しております。

本日、議員からは「こどもの遊び場所」に関するご質問の中で、公園整備のほか、子育て世代の移住対策など様々な視点からのご意見をいただくことができましたので、今回の「こども議会」を機に、これからも公園整備を含む本市のまちづくりについて、率直なご意見をお寄せいただきたいと考えております。

以上、お答えさせていただき、他の質問につきましては、産業部長からご答弁を申し上げます。

7班 那賀川中学校

(答弁) 中橋 産業部長

吉岡陽菜乃議員の阿南市の観光PRを今後どのように行う予定か、とのご質問にお答えいたします。

阿南市には、豊かな自然や歴史・文化に基づく魅力的な観光資源が数多く存在します。現在、ホームページや各種SNSに加え、観光パンフレットやイベント出展など、様々な方法で情報発信していますが、本市の魅力をどのように発信すれば、認知度を向上させることができるかが大きなテーマとなっています。より多くの方々の興味関心を惹きつけ、阿南市に行ってみていただきたくするためには、議員のお話にもありましたように、分かりやすくインパクトのあるキャッチコピーによるPRは効果的な手法です。

本市は、青色発光ダイオードの発祥地として「光のまち阿南」や「四国最東端のまち」というキャッチコピーを掲げて、PR活動を行っています。特に、四国最東端の地である本市の蒲生田地区には、全国有数のウミガメの産卵地として知られる蒲生田海岸や、小説家伊与原新さんの直木賞受賞作「藍を継ぐ海」の表紙のモチーフとなった「蒲生田岬灯台」、椿泊湾などの絶景が楽しめる「かもだ岬温泉」など、周辺には魅力的な観光資源が集積しています。四国最東端のまちで、「四国で最初に朝日が昇るまち阿南」として、本市が持つ魅力的な観光資源を市内外に向けて発信したいと考えています。

今後の取組としましては、まずは、現在活用しておりますホームページや市の公式LINE等の各種SNSの内容の充実化に加え、ホームページとSNSでは、情報の拡散力や集客力の持続度等に違いがありますので、それぞれの特長を生かした効果的な情報発信を行います。さらに、徳島県をはじめ、那賀町、海部郡の3町とも連携し、体験型観光コンテンツや戦略的なプロモーションの実施など、徳島南部地域が一丸となった情報発信にも力を入れていきたいと考えています。

一方で、那賀川の「阿波公方」をはじめ、素晴らしい観光資源が身近にあるがゆえに、その魅力に気づきにくいという一面もあります。ぜひ、こども議員の皆さんにもそれぞれの視点で本市の魅力を再発見していただき、「広告塔」として身近な方々に積極的に発信していただくと大変心強く思います。

今後とも、皆さんからの若者ならではの感性にあふれるご意見、ご提案を大切にしながら、本市の認知度を全国で高め、「本市のファン」が増えていくよう、積極的に取り組んでまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

以上、お答えとさせていただきます。

8班 羽ノ浦中学校

・スポーツ・部活動について

(質問) 羽ノ浦中学校 3年 遠藤優斗 議員

僕は、硬式野球のクラブチームに所属しています。その際、野球をしている中で思ったことがあります。それは硬式球を使えるグラウンドが少ないこと、硬式球のバッティングセンターがほとんどないこと、この2つです。

本格的な球場はアグリあなんスタジアムの1つだけです。また、バッティングができる施設はアグリあなんの1つのみです。宝田町のバッティングセンターがありますが、軟式のみで硬式球のバッティング練習をすることができません。野球のまちと呼ばれる阿南市ですが、練習や試合をできる場所はとても少ないです。僕の野球チームの全体練習は土日であり、河川敷で練習をしています。アグリあなんスタジアムという素敵な球場がありますが、毎回そこで練習することはできません。そのような素敵な球場を1つでも多く建てることにより、きれいな球場で練習や試合をできる機会が増えると思います。

より良い環境で練習することによって、本番に近づけた練習を効率よくできます。そうすることによって大会当日には少し緊張感がほぐれ、練習どおりに自分の力を発揮できると思います。実際に大会前日にアグリあなんのようなきれいな球場で練習し大会に臨んだことがありました。そうすると試合が始まって緊張することなく、自信を持って全力でプレイをすることができました。試合で自分の力を100パーセント発揮することはすごく大切なことだと思います。発揮できる力を100パーセントに近づけるために、また、より良い環境で練習できるようにするために、球場や練習場を設置することを僕たちは望みます。



8班 羽ノ浦中学校

(質問) 羽ノ浦中学校 3年 野村旺志郎 議員

自分は、バスケットボールをしています。バスケは体育館で練習するのですが、夏場になるととても暑くなり、体温が上昇し熱中症になるおそれがあります。だからエアコンを設置してほしいです。エアコンを設置すると熱中症のリスクが減り、安心して部活をできるからです。そうすれば部活に集中することができます。

体育館で部活をしている人に質問してみると、「扇風機をもっと増やしてほしい、西日がまぶしくて集中できないからカーテンをつけてほしい」という生徒からの要望がありました。部活動は中学生にとって人生にも関わる大事なことなので、集中して取り組みたいし、青春の一部なので大切にしていきたい。

僕はこれらの要望を叶えたいです。外で部活をしている人にも質問してみました。とにかく暑いので、人工的な陰を作りたいと言う要望が一番強かったです。少し要望ばかり言ってしまいました。施設のこと、エアコン設置など、膨大なお金のかかることばかりですみません。

とにかく僕らはスポーツで阿南市を盛り上げたいと思っています。僕らが住んでいる阿南市は、山、川、海、街、全てがちょうどいいまちです。徳島県でも人口が2番目に多いまちです。よく学校で配布されるチラシにも、サップやカヤックといった海ならではの催し物があったり、キャンプや自然と触れ合う体験ができたりする案内もよく見ます。僕たちがやっている競技スポーツだけではなく、こどもからお年寄りまで楽しめる催し物がたくさんある素敵なまちだと思います。こんな素敵なまちなのに、県外に流出する人が増え、こどもの数も減っています。もっと魅力的なまちにすることで、このまちから離れたくないと思わせられるようにすればいいのでは、と思います。

僕たちが今一番関心のあるスポーツで、まちを盛り上げてみてはどうかと考えました。僕たちの住んでいるまちはたくさん公園があります。しかし、使えない遊具が多くなってきており、整備されていない箇所もたくさんあります。小さいこどもが安心して遊べる空間や大人が安心してこどもを遊ばせられる施設が増えればなと思っています。体力低下を防ぐためにも、小さい頃から体をしっかり動かせるような場所があれば、そしてスポーツに関心を持てるような環境があればなと思っています。

僕たち2人は中学校の部活動ではなく、外部のクラブチームに所属しています。中学校の部活動も、今、人数不足や教員の負担軽減ということで問題に上がっています。部活の地域移行化という言葉もよく耳にするようになりました。活動は強制ではありません。でも体を動かすことは生きていく上でも必要なことだと思います。もっと手軽にスポーツを楽しめ、苦手な子でも体験できる施設があればなとも思っています。

スポーツはするだけではなく、「見る」、「支える」という視点で大きく捉えることができます。スポーツへの関心度が高いまちづくりをしていきたいです。



8班 羽ノ浦中学校

(答弁) 岩佐 市長

羽ノ浦中学校、遠藤優斗議員、野村旺志郎議員の、スポーツ環境の整備についてのご提案にお答えをいたします。

まず、硬式球が利用できるグラウンドが少ないという点についてですが、硬式球は打球も強く、軟式球より遠くに飛ぶため、それに対応した広さや防球ネットの高さを備えた設備が必要となり、議員からもお話があったように阿南市においては本格的な硬式球が使える球場はJ A アグリあなんスタジアムなど一部施設に限られている状況であります。

近年は、J A アグリあなんスタジアムの利用者が増加して、利用したい時に利用できない状況が生じていることから、第2球場の設置を要望する声が野球関係者をはじめ、多方面からあることも承知しており、阿南市選出の県議会議員とも、その声を共有していたところであります。

そうした中、先の徳島県議会令和7年6月定例会において、南部健康運動公園の防災とスポーツ拠点としてさらなる機能強化を求める新たな施設整備に関する質問に対しまして、施設設置者である県からは、新たに大規模災害発生時に物資輸送の拠点などに活用する「オープンスペース」の整備を計画しているとの答弁をいただいております。

本市といたしましては、この「オープンスペース」を災害時は災害拠点として、平時は硬式野球を含め、スポーツに供することのできる広場として活用できるよう野球関係者や阿南市選出県議会議員とともに、徳島県に対して、働きかけてまいりたいと考えております。

第2球場の設置へのチャレンジは私の公約にも掲げておりまして、新たな硬式球が利用できる球場や練習場の設置は「野球のまち阿南」を掲げる本市にとりましても、より効果的な野球事業の推進が図られるとともに、地元の野球文化を発展させるだけでなく、選手の皆さまが自身の能力を最大限発揮できる環境を提供するためにも重要であると認識しております。皆さんからいただいたご要望をしっかりと受け止め、関係者皆様のご協力を得ながら実現に向けた要望活動や取組を行ってまいりたいと考えております。

次に、体育館にエアコンを設置して欲しいとのご要望ですが、近年の気候変動により、世界的に平均気温が上昇し、我が国でも最高気温 35℃以上の日数が増えています。それに伴い、熱中症の発生件数も年々増加しています。

このような状況を踏まえると、体育館利用者の熱中症を防ぐためには、空調設備による温度管理を行い、猛暑日でも快適な環境を確保することが重要となってまいります。

また、体育館は災害時に地域の避難所としての役割を担う、非常に重要な施設でもありません。

私は市民の皆さまとのお約束である公約にも「避難所となる体育館の空調整備」を掲げており、早期の実現に向けて取り組んでまいります。

そこで、令和7年度におきましては、津波による被害のおそれのない小学校のうち、同じ規模・形状の体育館であります中野島小学校・宝田小学校・大野小学校・長生小学校の4校をモデル校として設計を行い、令和8年度には、それら4校の空調設備の設置と、次なる空調設置校の選定及び設計業務を実施する予定であり、今後も市内全域への展開に向けて積極的に取り組んでまいります。

以上、お答えとさせていただきます、他の質問については教育部長からご答弁を申し上げます。

8班 羽ノ浦中学校

(答弁) 安富 教育部長

遠藤優斗議員、野村旺志郎議員の、「スポーツで阿南市を盛り上げたい」とのご提案にお答えいたします。

スポーツは人々を元気にし、市を盛り上げる大きな力を持っています。スポーツは、健康や仲間、地域とのつながりをつくるものとして欠かせないものです。

議員の「誰もが手軽にスポーツを楽しみ、スポーツをするだけでなく、見る、支えるという視点で捉える」というご意見は、スポーツの持つ魅力を一層拡げていくことにつながり、スポーツで阿南市が盛り上がることにつながるもので、教育委員会といたしましても身近な場所でいつでもスポーツに接することができ、スポーツを身近に感じてもらえるような機会を提供していくことが重要であるとの考えは議員と同じです。

阿南市では、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブとして、こどもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する人々により、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できることを目的に、地域住民により自主的・主体的に運営される、市内3団体の「総合型地域スポーツクラブ」があります。

まさに議員の考えと同じであり、また、一人でも多くの市民が生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう、「しんきんサンアリーナ」や「うみテラス北の脇」の指定管理者などと連携しながら多種多様な教室を実施しており、今後におきましても、初心者向けのスポーツ教室の実施や民間のノウハウを生かしたプログラムを提供するなど、スポーツに触れる機会の充実を図ってまいりたいと考えております。

今後とも、スポーツで阿南市を盛り上げ、魅力的なまちにするには、若い皆さんの力が欠かせません。日頃考えているアイデアや具体的な活動を教えていただき、スポーツで元気な阿南市を一緒に実現していきましょう。

以上、お答えとさせていただきます。

9班 富岡東中学校

- ・街灯を増やす（通学路の安全確保）
- ・こどもが楽しく本を読める図書館作り

（質問） 富岡東中学校 3年 西栗那 議員

通学路の安全確保とこどもが楽しめる図書館設備というテーマで質問をさせていただきます。

まず、通学路の安全確保についてです。

私は、夕方歩いていて、阿南には暗い道が多いと感じました。特に部活終わりや学校帰りは道の先が暗くて見えず、怖いと感じることがあります。周りの人にも聞いてみると田んぼが続いている道や狭い道は街灯が少なく、暗いそうです。

また、自転車で帰るときに道路が見えにくく、曲がり角の先にいる車や、滑りやすい水たまりに気づかないこともあります。

そこで私たちは、阿南市により多くの街灯の設置を提案します。街灯の設置は事故のリスクを未然に防ぎ、地域の安全性を向上させます。また、道の先に人がいるかどうか分かり、防犯の面でも役立つはずで



9班 富岡東中学校

(質問) 富岡東中学校 3年 西谷咲良 議員

次に、こどもが楽しめる図書館についてです。

私たちは、こどもが騒いでいても迷惑にならない防音スペースや、小さいこどもでも本に興味を持ちやすく、探しやすいように表紙の見える本棚などを増やすことを提案します。

他にも、優しい色を使った壁やソファ、机にすることで視覚的にも楽しめるスペースづくりや、電子書籍を使い、デジタル技術に触れ合うようなコーナーを作ることも提案します。

そして、図書館の周りをこどもが遊ぶことができる庭や、広々とした開放感のある場所にすると、図書館をより楽しく安心して利用できると思います。

このような図書館を作ることは、親の負担の軽減にもつながります。安心して遊ぶ空間があることで、親の自由な時間を生み出すとともに子育てのストレスが軽減され、図書館を利用したいと思う人が増えるのではないのでしょうか。親同士の交流の場を作ることもつながります。なによりこどもが本を楽しく読むことができ、いろんなことを知りたい、学びたいという知的好奇心や想像力も育まれると思います。

図書館は、ただ本を読むだけでなく、親子で楽しめる空間となり、阿南市の活性化に役立つはずです。

また、地域の魅力を高め、より多くの人に知ってもらうことも必要だと思います。

例えば、環境に優しいLEDなどを街灯に使うなど、施設の整備を行うことで環境に配慮しながら交通事故や犯罪の少ないまちづくりをPRします。この取組が実施されることで、地域の魅力と住みやすさが向上し、若い世代の人たちが地域にとどまりやすくなると思います。

図書館では、こどもコーナーに阿南市の竹人形などの伝統工芸品や、ゆかりのある芸術家や作家の作品を見えるように展示してはどうでしょうか。これにより、こどもの頃から自分たちの住んでいる阿南市の良さを身近に感じられると思います。

このように、街灯を増やすことで「安心」を、図書館にこども向けのスペースを作ることで「楽しさ」をまちに加えることができると考えます。安心で楽しく過ごせるまちづくりを行うことで、こどもだけでなく、大人にとっても心地よい、持続可能なまちになると思います。

以上のことから、私たちは、街灯の設置とこどもも楽しめる図書館の設備の充実を提案します。



9班 富岡東中学校

(答弁) 岩佐 市長

富岡東中学校、西谷咲良議員からの「こどもが楽しく本を読める図書館作り」についてお答えします。

現在、阿南市では、富岡東中学校の隣、旧阿南市民会館の跡地に、新しい図書館の建設を進めており、今年度から設計を行い、今から5年後になりますが、令和12年度の完成を目指しています。

今回いただいた「こどもが騒いでいても迷惑にならない防音スペースや、図書館の周りをこどもが遊ぶことができる庭や広々とした解放感のある場所にすると、図書館をより楽しく安心して利用できる」など「図書館を親子で楽しめる空間」とするご提案は、まさしく現在、阿南市が考えているコンセプトそのものであります。

まず、こどもたちが、絵本を楽しむエリアは、「本を読むのは楽しい」と感じることができるよう、周囲に気遣うことなく、こどもが声を出し、家族でおはなししながら過ごすことができるための防音対策のとれたスペースを設けます。

新図書館の前には、こどもが安全に遊ぶことができる緑の起伏広場や広場からつながる室内には遊具のあるキッズコーナーを計画しています。

また、他の子育て層と自然とつながり、交流を生み出すことのできるフリースペース、カフェスペースを設け、提案いただいた親同士や家族ぐるみの交流を演出します。

そのほか、中高生の皆さんが自習をするスペースや、グループで集まって研究したり企画を練ったりすることができるスペースも計画しています。

アートや音楽、進路など、中高生の皆さんの関心が高い分野の本を集めたティーンズコーナーも設置する予定としています。ここでは、中高生の皆さんが様々な活用できるコミュニケーションボード等の設備を設けることも考えています。

阿南市の竹人形などの伝統工芸品やゆかりのある芸術家や作家の作品を見えるように展示してはどうかなど、本日、議員の皆さんから頂いたその他の提案も参考にしながら、新しい図書館が全ての市民にとって楽しい場所となり、皆さんがいくつになっても気軽に来ることができ、生まれ育った阿南市で子育てしたいと思ってくれるような「こどもが楽しめる図書館づくり」にしっかりと取り組んでまいります。

このような、素晴らしい図書館の計画があることをお友達や、また、ご家族の皆さんにも、ぜひ伝えていただき、広めていただきたいと思います。

以上、お答えとさせていただきます、他のご質問については、市民部長からご答弁申し上げます。

9班 富岡東中学校

(答弁) 山下 市民部長

富岡東中学校、西谷咲良議員、西栗那議員の街灯を増やす（通学路の安全確保）についてのご質問に順を追ってお答えいたします。

はじめに、西谷咲良議員、西栗那議員、提案のとおり、防犯灯は皆さんの通学時の事故や犯罪を防ぐ効果があり、市民の安全を守るためにとても大切な設備です。

私たちも、その重要性をよく理解しており、素晴らしい提案だと、とても感心しております。そこで、阿南市では、夜間における事故や犯罪の発生を防ぎ、市民の安全を守ることを目的に、現在、市内の6,635箇所に防犯灯を設置しています。

一つ目の「防犯灯を増やしては」の提案ですが、新たな設置につきましては、設置を希望する方が設置場所のご近所の方々に承諾をもらい、近くの住民センターや公民館において地域の皆さんが中心となって、必要の有無を十分に検討いただき、申請書を提出する、といった流れになっております。ぜひ議員の皆さんにも地域活動の場へ参加し一緒に考えてほしいと思います。その後、申請書が提出された後は、今ある防犯灯との位置関係や緊急性を考慮し、特に曲がり角や狭い道など危険な場所を優先し、年間30カ所程度新たに設置しております。

しかしながら、ご質問の中にもございましたが、田園地域や畑作地域においては、お米や野菜などの農作物の発育に影響を与えることから、一部、設置されていないところもございます。これは、自然と共存するうえで非常に大切なことでもあります。

また、防犯灯だけでなく、皆さんが安全に通学できるよう交通安全の視点と、防犯・防災の視点から「学校」「警察」「道路管理者」、道路管理者というのは国道であれば国土交通省、県道であれば南部総合県民局、市道であれば市役所土木課などのことです、これらのメンバーで構成している「阿南市通学路安全推進協議会」の方々が、通学路の合同点検などを行って来ております。点検の結果、道路標識の設置や道路の補修等を行い、皆さんの通学の安全性が保たれております。今後も、防犯灯の設置は、市民の皆様方のお声を大切にしながら、必要な場所へ確実に設置できるよう計画的に進めてまいります。

二つ目の「防犯灯のLED化」のご提案については、皆さんの保護者の方や知り合いの誰かが働いておられるかもしれませんが、阿南市にはLED技術の世界トップシェアを誇る日亜化学工業(株)様が立地しております。その日亜化学工業(株)様から平成24年3月に1億円という凄いお金をご寄附いただいたことをきっかけに、平成24年度、ちょうど議員の皆さんがよちよち歩きか、やっと歩きだしたぐらいの頃から、新たな設置や交換の際に、随時LED化を進めてきた結果、令和7年3月31日現在、率にして99.8%、ほとんど全ての防犯灯がLED化されております。

最後に、「防犯灯の光が、地域の魅力向上と若い世代の定住にもつながる」との提案も、大変意義のある貴重なご意見と受け止めておりますことから、今後も環境に十分配慮し、より多くの防犯灯が設置できるよう計画的に進めるとともに、「光のまち阿南」として、「安全・安心で、市民も輝く素敵なまち」となるよう努めてまいります。

以上、お答えいたします。

湯浅 議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

7班、那賀川中学校 斎藤 つづり 議員、吉岡 陽菜乃 議員、前へお進みください。

(7班、那賀川中学校の議員の感想・意見は45ページに掲載)

8班、羽ノ浦中学校 遠藤 優斗 議員、野村 旺志郎 議員、前へお進みください。

(8班、羽ノ浦中学校の議員の感想・意見は45ページに掲載)

9班、富岡東中学校 西谷 咲良 議員、西 栞那 議員、前へお進みください。

(9班、富岡東中学校の議員の感想・意見は45ページに掲載)

《答弁を受けての感想・意見》

7班 那賀川中学校



齋藤 つづり 議員

ご答弁ありがとうございました。私たちの身近にある公園が、様々な方のご協力の中、整備されていることをあらためて知りました。公園は、幅広い世代が利用する場なので、大切にしていきたいです。ありがとうございました。



吉岡 陽菜乃 議員

ご答弁ありがとうございました。阿南市には豊かな自然や歴史・文化に基づく魅力的な観光資源がたくさん存在することをこども議会を通して知ることができました。これからも那賀町、海部郡とも連携し、一丸となって本市の意義を高めていきたいです。

8班 羽ノ浦中学校



遠藤 優斗 議員

ご答弁ありがとうございました。スポーツで阿南市を盛り上げるためにスポーツを全力で楽しむこと、スポーツの魅力を教えることなど、自分たちにできることを積極的に行動していき、阿南市とともに盛り上げていきたいと思えます。



野村 旺志郎 議員

ご答弁ありがとうございました。僕たちは、スポーツで阿南市を盛り上げたいという提案を全力で引っ張っていき、そして、阿南市と一緒に盛り上げたいと思いました。

9班 富岡東中学校



西 葉那 議員

ご答弁ありがとうございました。街灯のほとんどにLEDが使われているということをお知らせして知り、周りの人たちにもそれを伝えたいと思いました。また、街灯設置の提案をする場に参加し、それについても一緒に考えたいと思いました。



西谷 咲良 議員

カフェスペースを設けるという話を聞き、図書館で一日過ごすことができると思いました。私を含め、弟や妹の好きな図書館が良くなることを楽しみに待ちたいです。ご答弁ありがとうございました。

湯浅 議長

以上で通告による一般質問は終わりました。
これにて市政に対する一般質問を終結いたします。

湯浅 議長

日程第5 教育長の講評をお願いいたします。坂本教育長。

日程第5 教育長講評

坂本 教育長



本日は、合併20周年記念事業として市内中学生の皆さんによる阿南市こども議会を開催いたしました。冒頭の岩佐市長の挨拶にもありましたように、中学生によるこども議会は平成5年（1993年）以来、2回目、実に32年ぶりということです。夏休み終盤の貴重な1日を本日は、阿南市のために費やしていただき、本当にありがとうございました。

当初、私が予想しておりましたよりも質問の幅が広く、身近な学校生活から防災や人権、スポーツまで、広範囲に及びました。また、高齢者の方や小さな子どもたちまで、幅広い年代への視点を持ち、誰にも優しい地域にしたいとの思いも大変よく伝わってまいりました。

加えて、阿南市の将来に関心を寄せ、より、魅力あふれるまちであって欲しいとの願いに満ちたものでした。

皆さんの純粹でまっすぐな眼差しに、真剣に答えなければならないと緊張感を持ってどの答弁者も返答させていただきました。実際に、実現できるものもあれば、実現が難しいこともあるかもしれませんが、仮に実現できなかつたからといって、皆さんがここで意見を述べてくれたことは決して無駄にはなりません。それは、皆さんの思いは、ここにいる市長をはじめ市の職員に間違いなく伝わったからです。

この8月6日に広島で平和記念式典が開催されました。その式典で広島市の小学生が平和への誓いを次のように述べました。

『ONE VOICE たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずです。大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することができます。』と。今日の経験を通じて、皆さんが『自分の意見を持ち、発信すること』の大切さを実感してくれたのならこんなに嬉しいことはありません。

9月には学校がリスタートします。それぞれの目標に向かって、より主体的に学んでください。様々な活動を通して、仲間との絆を強め、より良い学校生活を送ることで、皆さん一人一人の輝きがより一層、増すことを心から期待しております。

結びにあたり、本議会を開催するにあたりまして、ご指導いただきました先生方、保護者の皆様、阿南市議会の湯浅議長さん、大変お世話になりました。そして、18名の議員の皆さんお疲れさまでした。すべての方々にお礼と感謝を申し上げ講評といたします。

本日は誠にありがとうございました。

湯浅 議長

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

大変高いところからではございますが、閉会に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

皆さん、この議場で議員として意見を述べて、いかがでしたか。

今日の経験が、皆さんの未来への大切な一歩となり、これからの成長の糧になることを心より願っております。どうかこれからも、ふるさとや社会のことを大切に思い、関心を持ち続けてください。

そして、10年後には、市民の信頼を得て、皆さんが再びこの議場に立ち、阿南のまちづくりに力を尽くす姿にお会いできることを楽しみにしています。

また、本日は多くの保護者や先生方にも傍聴いただき、誠にありがとうございました。

こうした取組は、皆様のご理解とご協力なくしては成り立ちません。この場をお借りいたしまして、深く感謝を申し上げます。

さて、夏休みも残りわずかとなりましたが、元気いっぱい、今しかできない貴重な体験をたくさん積んで、充実した日々をお過ごしください。

本日は誠にありがとうございました。

これもちまして、阿南市こども議会「合併20周年特別議会」を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

閉会 午後4時33分

以上の会議の正当なことを証するため、議長及び署名議員2人が署名する。

阿南市こども議会議長
(阿南市議会議長)

湯浅 隆浩

会議録署名議員

町田 晋太郎

会議録署名議員

岩崎 美羽

スナップアルバム

オリエンテーション・リハーサル



お昼休憩



こども議会





1班 阿南中学校



2班 阿南第一中学校



3班 加茂谷中学校



4班 阿南第二中学校



5班 福井中学校



6班 新野中学校



7班 那賀川中学校



8班 羽ノ浦中学校



9班 富岡東中学校





阿南市